

# 環境フォーラム湖東 各団体の活動報告

## リサイクルステーション



リサイクルステーション  
～いらないものをいる人に～

- ◎リサイクルマーケット  
…家庭不用品の常設リサイクルマーケット
- ◎大型不要品の活用情報提供
- ◎資源回収ステーション機能  
…空き缶・牛乳パック・古紙・段ボール等の回収
- ◎EM菌を使っの生ゴミの減量  
…一般家庭生ゴミの肥料化（協力者 現在50戸）
- ◎リサイクル情報の発信  
…環境関連図書の閲覧コーナーを設置
- ◆エコマーケット「夢畑」の運営  
…月1回フリーマーケット開催
- ◆廃ガラスを使ったフュージングの体験教室



## 社団法人彦根青年会議所

彦根青年会議所では、まちづくり活動の一環として、様々な角度から自然環境への取り組みを実践しています。2008年度は、世界規模での課題であるCO2削減をテーマに取り上げ、地域でも簡単に取り組める活動として、サイクリングによるCO2削減効果について学びました。

実際にサイクリングをして、その効果を測るといってごく簡単な取り組みですが、市民一人一人が取り組みやすく、全員が実践することで大きな効果が得られることを、参加された皆さんにご理解いただけたと思います。今後も市民の皆さんとともに自然環境について考え、楽しく実践できる活動を推進していきますので、是非ご参加下さい。



## ひこね自転車生活をすすめる会

～環境に、健康に、自転車利用をおすすめ～

- ◎サイクリング（誰でも参加できるエコツアー）  
…市内外の自然/歴史を全身で楽しむ！！
- ◎おもしろ自転車製作とイベント走行  
・「彦根リキシャ」「陸舟奔車」など
- ◎交通安全啓発活動  
…児童・学生・通勤・買い物・高齢者向け自転車の安全な乗り方お教えできます。



◆お気軽にお問い合わせ下さい  
<連絡先> 〒522-0083 彦根市河原2丁目4-6エコスタイル自転車店内 竹内洋行0749-26-2901

## 環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています

すでに環境に関する活動をされている方や、ちょっと環境の勉強をしてみたいという方、企業・市民団体のみならず、どなたでも参加していただけます。まずはお気軽に、左記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。

発行：環境フォーラム湖東（平成21年3月）  
 ■ 〒522-0071  
 ■ 彦根市元町4-1 湖東地域振興局環境課内  
 ■ TEL 0749-27-2255 ■ FAX 0749-27-1688  
 ■ URL <http://www.f-koto.org/>  
 ■ E-Mail [info@f-koto.org](mailto:info@f-koto.org)



# エコトピア

第13号

## Contents

1. 企業の環境への取り組み  
湖東の生き物の仲間
2. つばめラボ報告  
第3回エコサロン報告
3. 身近な水環境の全国一斉調査
4. 団体活動報告

## もっと知りたい琵琶湖と出会うコレクション

私ども(株)キントーは、国内外の提携工場にて独自の技術水準の向上に努め、当社の仮説をもとにマーケットニーズを体現するテーブルウェアの開発商品を生産/管理、提案販売をしておりますメーカーです。彦根に本社を置く当社は、何か地元を広くアピールできローカルの魅力を感じてもらえないかという思いから、琵琶湖に生息する固有種などの魚類7種、小魚を捕食する外来魚2種、県鳥カイツブリ2モデルを、正確な造詣表現とハンドペイントで彩色に徹底的にこだわったフィギュア『BIWAKOコレクション』を開発しました。琵琶湖には長い年月をかけて育まれてきた美しい環境、特異な生態系があり、世界に誇るべきものです。いま、琵琶湖は外来魚などの影響で生態系が脅かされ固有種の絶滅が心配されています。このBIWAKOコレクションを通じて、琵琶湖への愛する気持ちをさらに高め受け継がれていくことを望んでおります。私たちの小さな社会還元として、BIWAKOコレクションの収益の一部は「財団法人 淡海環境保全財団」へ寄付しております。フィギュアを買われた方たちにも「自分の行動が環境保護につながっている」と感じてもらえて、琵琶湖の環境に対して関心を持ってもらえれば本当に素晴らしいです。(株式会社キントー 北村 武志)



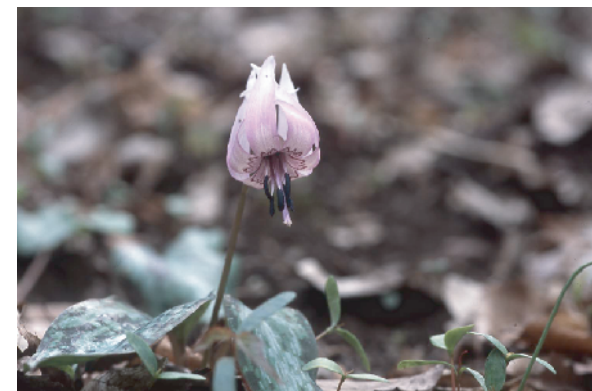
## 琵琶湖の水質と生態系の保全を願って ～「クリーンバンクしがぎん」の取り組み～



滋賀銀行は、環境省より認定を受けた「エコ・ファースト企業」として、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、地球温暖化防止をはじめとする、持続可能な社会の実現に向け、「環境金融」への取り組みを進めています。一方、役職員による環境ボランティア活動も積極的に展開しています。具体的には、平成11年より毎年実施している、琵琶湖の水質保全や魚の産卵に欠かせないヨシの育成に必要な刈り取りボランティア。これまで延べ1,800名を超える役職員が参加しています。加えて、自ら刈り取ったヨシを、全役職員の「ヨシ紙名刺」の原料として活用し、ヨシ群落を「守り、育てる」活動から、「活用する」活動へと、昨年11月に発展させました。また、環境対応型金融商品「カーボンニュートラルローン未来よし」では、お客さまが当行の環境関連融資商品を活用して「太陽光発電システム」等を導入、削減された温室効果ガス量に応じて、当行が琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」放流資金を拠出。今年も、昨年同様、3万匹のニゴロブナを放流しました。今後も「未来からの預かりもの」である琵琶湖の水質と生態系の保全を願って、様々な地球環境保全の取り組みを進めてまいります。

●詳細は、当行ホームページ上の「CSRレポート2008」をご覧ください。  
CSRレポート2008 URL  
<http://www.shigagin.com/pdf/CSR2008.pdf>

## 湖東の生き物の仲間



春を代表する花で、カタクリ粉の由来はこの球根からきている。カタクリから作った重湯は胃腸の炎症を和らげる効果があると言われる。



スズメ目、メジロ科 緑と黄色の羽毛に目の回りの白い輪で一目で分かる野鳥。日本全国の低山地や平地でふつうに見られる、樹上生で地面に降りることはない、葉に着くアブラムシやクモを食べるがやわらかな果実や花の蜜を好む。何羽もが群れになり移動し枝に止まった時はまさに「メジロ押し」となる。



○概要

「つばめラボ」は私たちと同じ土地で巣作り・子育てをするツバメの観察を通じて「つばめはこんなところに住んでるんだ」「ヒナがかえった!」というような、たくさんの“発見”を皆で持ち寄り、ツバメ達そして私達の暮らす湖東の環境を考えてみようという取り組みです。対象は主に小学校中学年～高学年ですが、特に年齢制限は定めず、個人でも団体でも参加可能となっています。お送り頂いた記録票から優秀なものについて、つばめラボ特別賞と、つばめラボ賞を贈っています。選考基準は次の通りです。

- ・斬新な視点や発想でツバメの暮らしを捉えている。
- ・ツバメの暮らしと湖東の環境との繋がりについて発見がある。
- ・調査票の数は選考の基準としません。
- ・絵の完成度よりも、独自の視点でツバメの暮らしを捉えているか、新しい発見があるかどうかを重視します。
- ・絵・写真の記載のないものは選考の対象としません。
- ・フィクションは選考の対象としません。

○今年度の活動

平成19年度から3年計画で実施しており、今年度は2年目でした。今年度の受付期間は2008年5月1日～9月5日（随時受付）としました。昨年度、パンフレットが十分に配布できなかった反省を踏まえ、4月に1万部のパンフレットを湖東圏内の各小学校へ配布しました。受付終了後の2008年11月16日に、湖東地域環境シンポジウムにて表彰式をビバシティ彦根で、展示は11日～17日に同センターモールで行いました。また、表彰式では記念講演として、日本鳥学会会員の須川恒先生に「ツバメの1年」と題した講演を頂きました。

○選考結果

「つばめラボ大賞」  
該当作なし

「つばめラボ賞」  
上林弘子さん（大人）  
→ツバメが巣を引っ越すのを発見

北川哲さん（小6）  
→橋の構造によってイワツバメが巣を作る橋と作らない橋があることを発見

村岸さらさん（小3）  
→ツバメが蜘蛛の巣を巣材に使い、蜘蛛の巣を壁にこすり付けていたのを発見

「つばめラボ特別賞」  
山田三男さん（大人）  
→ツバメが1羽だけ（片親）で卵を温めていたのを発見  
（過去の記録）日食の時、太陽が欠け始め薄暗くなると、ツバメは巣に帰ってくるのを発見

○今後に向けて

地域でツバメを観察していた大人から応募があり、湖東地域での観察結果の掘り起こしができました。しかし、一方で主な対象者である小学生へ大幅に配布数を増やしたにも関わらず、応募数としては減となり、効果が現れませんでした。配布数を上げてでも参加が増えないということは、ツバメの観察と言っても魅力が分からないということや、そもそも観察の仕方が分からないという状況であることが考えられ、今後の課題となりました。

第3回「えこサロン」開催しました

2008年11月28日（金）の夜に環境フォーラム湖東の会員のみなさんが、樽屋敷「尊和林庵」さんを集まって開催されました。今回は、リサイクルガラス工房「エヴァグリーン」を閉鎖される事になった安澤久子さんをお迎えし、今までの環境問題に取り組んでこられた自分史を語ってもらいながら、飲み物や手作りのお餅・お菓子などをいただきました。3回目となった「えこサロン」も今までと違った趣向で行なうことにより、新たな会員間の交流が生まれ、今後の活動に生かされるものと思います。



2008年6月に第5回目の水質調査が行われ湖東地区も参加しました。調査地点数は全国で6,241箇所、滋賀県773箇所、湖東地区247箇所、そのなかに甲良東小学校、甲良西小学校、愛知川エコロジーキッズ、日夏ネイチャークラブのみなさんも参加してくれています。水質調査はバックテストによるCODの測定です。CODは化学的酸素要求量または化学的酸素消費量のことで、水の中に酸化される物質（主として有機物）がどれくらいあるかを調べるものです。きれいな水で1～2mgO/Lですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。調査の結果をマップにしてその地点の汚れ具合を色で表してあります。このマップは琵琶湖環境科学研究センターの協力によって作成しました。マップは環境フォーラム湖東のホームページにも載せており、その中の詳細図に当たる部分では画面の拡大が可能で、地点の特定ができます。

調査地点の大部分は河川、水路ですが、なかにびわ湖岸や沼、池などの測定がありますので、その数値を紹介します。  
びわ湖 新海浜から松原水泳場までの湖岸6箇所；2 mgO/L  
曾根沼；8、6、6、 野田沼；3、2、 神上沼；5、

身近な水環境全国一斉調査2009年6月 参加者募集  
詳しい測定の説明書を準備しますし、実技指導にも応じます

